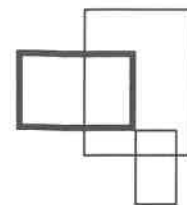




Matsuyama
Business
College

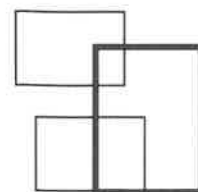
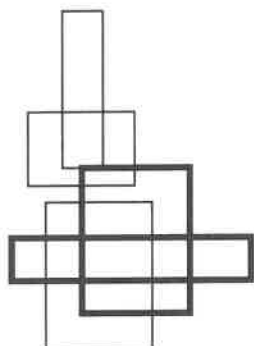


松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科

2024 年度

シラバス



スタイリストコース 2年

名前

※一年間、各自保管すること

令和6年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 スタイリストコース

必修 /選 択	区分	科目名	種別	担当者	スタイリストコース 2年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	色彩学Ⅲ	講義	森田	30		2
		ファッション販売理論Ⅲ	講義	松岡	60		4
		ファッション販売実技Ⅲ	実習	稲美	30		1
		英会話Ⅰ	講義	南原	30		2
		デジタル演習Ⅲ	実習	武智明	30		1
		ファッションプロデュースⅠ	実習	桑原	60		2
		色彩学Ⅳ	講義	森田		30	2
		ファッション販売実技Ⅳ	実習	稲美		30	1
		英会話Ⅱ	講義	南原		30	2
		デジタル演習Ⅳ	実習	武智明		30	1
		ファッションプロデュースⅡ	実習	桑原		30	1
	コース	スタイリスト演習Ⅲ	実習	桑原	60		2
		スタイリスト商品制作Ⅱ	実習	桑原	60		2
		ヘアメイク実技・理論Ⅲ	実習	三根生	60		2
		スタイリスト演習Ⅳ	実習	桑原		90	3
		スタイリスト商品制作Ⅲ	実習	桑原		90	3
		ヘアメイク実技・理論Ⅳ	実習	三根生		30	1
		研修	実習	桑原		30	1
	必修科目 合計					420	390
年間合計時間/単位数					810		33

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	色彩学Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	金曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通に いたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の実務での活用方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	産業における色彩						産業と色彩
2	〃						ファッション産業と色彩
3~4	色彩理論-光、視覚、心 理						光と色
5	〃						色覚のしくみ
6	〃						色彩と心理
7	色彩体系-色名とカラー システム						色名
8	〃						三属性による色の表示方法
9	〃						色見本とカラーコード
10	配色と色彩調和						流行配色
11	〃						調和の技術
12	〃						色彩調和論
13	〃						ファッション イメージとカラーコーディネーション
14	〃						日本の古典的な配色-重ねの色目
15	テスト						修了テスト
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番：23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード：31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定2級 2025年1月18日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅲ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	松岡 由紀子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	的確に、個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定2級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション販売概論	ファッション販売において必要な知識の体系の解説					
2～3	店舗運営管理	店舗運営管理の基本、店舗係数管理					
4～5	〃	店舗の人事管理、コンプライアンス					
6～10	商品知識	素材の種類と主要アイテム					
11～13	〃	配色の基本技術					
14～15	〃	副資材の知識、サイズの知識					
16～18	マーケティング	マーチャンダイジングの知識と実践					
19～21	〃	リテールマーチャンダイジング、デジタルマーケティング					
22～24	売り場づくり	VMD総論					
25～26	ファッション販売技術	ファッション販売技術総論					
27～29	練習問題	練習問題解答・解説					
30	修了テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売2』日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20% 修了テスト80%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定2級 2024年12月受験予定		
備考							

授業科目	ファッション販売実技Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	コミュニケーション力と判断力を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	モデルPR法						テーマ決め、準備
3～4	モデルPR法						撮影
5～6	モデルPR法						編集
7～8	販売実技						ロープレ
9～10	販売実技						ロープレ
11～12	現場見学						計画書作成
13～14	現場見学						実践(エミフル松前)
15	現場見学						発表
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点					検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備する。						

授業科目	英会話 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	南原 寿枝美 (株式会社サザンフィールド)			時間割	水曜2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	円高を背景に増え続ける海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する。						
学習到達 目標	来店した外国人客を迎え、店内案内や、基本的な商品説明ができる力を身に着ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基本フレーズ	「いらっしゃいませ」から始まる接客の基本フレーズを使ってみる					
2	役立つ定番フレーズ	「何をお探ですか」など、特によく使う定番フレーズを使ってみる					
3	売り場案内(1)	「紳士服売り場は3階です」など、店舗で取り扱っている商品の売り場を案内できるようになる					
4	売り場案内(2)	営業時間、定休日、Wi-Fiについて案内できるようになる					
5	売り場案内(3)	Wi-Fiの利用方法、免税手続きについて案内できるようになる					
6	商品案内(1)	買いたい商品や好みを聞いて商品を見せることができるようになる					
7	商品案内(2)	別のサイズやほかの色があることを説明できるようになる					
8	商品案内(3)	「手に取ってみてください」「鏡でご覧ください」など商品をお勧めできるようになる					
9	商品案内(4)	試着を案内し「お似合いです」と言えるようになる					
10	商品案内(5)	他のサイズの案内や丈詰めなど補正の案内ができるようになる					
11	商品案内(6)	素材や手入れ方法を説明できるようになる					
12	商品案内(7)	生地産地や日本製かどうかなどの質問に答えられるようになる					
13	レジでの案内(1)	レジの場所や列に並んで待つていただくよう案内ができるようになる					
14	レジでの案内(2)	支払い方法を確認する(クレジットカードが使えない場合の説明ができるようになる)					
15	前期修了テスト	前期内容について確認					
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(9784863922037)						
参考図書 参考文献	『キクタン接客英会話 販売編』アルク出版 『ゼロから話せる接客のひとこと英会話』KADOKAWA						
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること。						

授業科目	デジタル演習Ⅲ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	武智 明子		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	Illustrator・Photoshopの基本操作を使って制作を行い、クリエイションの幅を広げる。					
学習到達 目標	基本操作からの応用、デジタル制作の基本ルールを学ぶ。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	Illustrator・Photoshop	制作における基本ルールの説明、ラフ案作成				
3～4	〃	ラフ案作成、コンテンツの収集				
5～6	〃	ラフ案作成、コンテンツの収集				
7～8	〃	ラフ案作成、コンテンツの収集				
9～10	〃	Photoshopを使用した切り抜き、クリッピングマスクなど				
11～12	〃	Illustratorを使用してPhotoshopで作成した画像を紙面に配置していく				
13～14	〃	配置した画像のレイアウト、タイトルなどを制作				
15	修了テスト	制作物のプレゼンテーション				
使用テキスト 教材・教具	Illustrator・Photoshop					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	2時間ごとの制作物の提出、制作物80%、プレゼンテーション20%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ファッションプロデュース I		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	広告の企画から衣装提案、衣装集め、撮影までの流れを学ぶ。					
学習到達 目標	広告を制作する。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、プロデュース法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	概論	広告について、完成までの流れ				
3～4	衣装提案書	衣装提案書の作成方法、衣装リース屋				
5～10		衣装提案書の作成				
11	衣装集め	衣装の集め方				
12～17	広告制作	ペアを組んで与えられたテーマをもとに、衣装提案書作成から衣装決め				
18～28		撮影、編集				
29～30		プレゼン				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備する。					

授業科目	色彩学Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 2年 ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	「ファッション色彩Ⅰ」で学んだ色彩の基礎理論をさらに掘り下げ、ファッション業界の企画から流通に いたる様々な実務において色彩を活用できるよう考え方や手法を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定2級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の実務での活用方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業における 色彩計画	ファッション 業界において色彩を取り扱う姿勢、情報としての色彩					
2~3	〃	商品企画における色彩計画					
4	〃	生産段階における色彩					
5	〃	販売における色彩計画					
6	〃	パーソナルコーディネーションと色彩					
7~13	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答解説、試験勉強対策					
14	イメージコンサルティング	個人の魅力やニーズに応じたトレンドの取り入れ方、パーソナルカ ラー診断デモンストレーション					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅱ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験2級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番:23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード:31247818)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定2級 2025年1月18日(土)				
備考							

授業科目	ファッション販売実技Ⅳ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	コミュニケーション力と判断力を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリスト・Shopオーナーとして経験のある講師が、その経験を活かしコーディネート技術や接客やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	タレントPR法						テーマ決め、準備
3～4	タレントPR法						リース、コーディネート
5～6	タレントPR法						撮影
7～8	販売実技						ロープレ
9～10	販売実技						ロープレ
11～12	タレント×Shop PR法						テーマ決め、準備
13～14	タレント×Shop PR法						撮影
15	まとめ						2年間のまとめ
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点					検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備する。						

授業科目	英会話Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	南原 寿枝美 (株式会社サザンフィールド)			時間割	水曜2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年		
授業科目の テーマと目的	円高を背景に増え続ける海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する。						
学習到達 目標	外国人の接客中に多い質問に対して英語で対応できる力、海外で仕入れができる力を身に付ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	レジでの案内(3)	定価、セール価格、消費税について説明できるようになる					
2	レジでの案内(4)	プレゼント包装や個別包装を頼まれた場合に対応できるようになる					
3	衣類の英語表現	ワンピースは英語では dress と表現するなど、日本語の衣類表現と同じもの、違うものを知る					
4	服装に関する表現(1)	「着心地が良い」「きつい」「ダブダブ」など、服の着心地に関する表現を学ぶ					
5	服装に関する表現(2)	「おしゃれ」「最新のデザイン」「派手」「流行おくれ」など、服の見た目に関する表現を学ぶ					
6	よくある質問への対応(1)	お勧めの商品をたずねられて、「こちらはいかがですか」「これはセール中です」「これは人気商品です」などの案内ができるようになる					
7	よくある質問への対応(2)	値引きはできますかと聞かれ「残念ながら値引きはできません」「2つ買えば20%引きになります」などの案内ができるようになる					
8	よくある質問への対応(3)	買った商品を、そのまま着て帰りたいと言われた場合に対応できるようになる					
9	よくある質問への対応(4)	免税について聞かれた場合、免税できるかどうかや、免税カウンターを案内できるようになる					
10	よくある質問への対応(5)	ホテルや自国への配送ができるか聞かれた場合、対応できるようになる					
11	よくある質問への対応(6)	返品を頼まれた時「開封後の商品の返品はできません」などの対応ができるようになる					
12	海外での購入(1)	各国通貨や為替レートについて知る 欲しい商品を扱っているかどうか尋ねることができるようになる					
13	海外での購入(1)	サイズや色のバリエーション、生地や縫製地を確認できるようになる					
14	海外での購入(2)	値引き交渉ができるようになる					
15	後期修了テスト	前期、後期の内容について確認					
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版(9784863922037)						
参考図書 参考文献	『キクタン接客英会話 販売編』アルク出版 『ゼロから話せる接客のひとこと英会話』KADOKAWA						
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること。						

授業科目	デジタル演習Ⅳ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	武智 明子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	Illustrator・Photoshopの基本操作を使って制作を行い、クリエイションの幅を広げる。					
学習到達 目標	自分のイメージをデジタルツールをつかって表現できるようになる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	Illustrator・Photoshop	コピーライティングなど文章の作成				
3～4	〃	コピーライティングなど文章の作成				
5～6	〃	文字のレイアウト、フォントの選択など				
7～8	〃	全体のレイアウト(画像の大きさや文字のバランスなど)をまとめていく				
9～10	〃	全体のレイアウト(画像の大きさや文字のバランスなど)をまとめていく				
11～12	〃	全体のレイアウト(画像の大きさや文字のバランスなど)をまとめていく				
13～14	〃	最終的なレイアウト、色などの調整				
15	〃	プレゼンテーション				
使用テキスト 教材・教具	Illustrator・Photoshop					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	2時間ごとの制作物の提出、制作物80%、プレゼンテーション20%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ファッションプロデュースⅡ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	桑原 美知		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 2年	
授業科目の テーマと目的	役者の人柄、深層心理を紐解きスタイリングする。					
学習到達 目標	映画のポスターを制作する。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、プロデュース法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概論	役者の深層心理と衣装				
2～5	プレゼン	映画の衣装をスタイリングし、プレゼン				
6	映画制作	キャスティング、配役				
7～8		衣装決め				
9～11		ポスター撮影、編集				
12～15		ルックブック制作				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考						

授業科目	スタイリスト演習Ⅲ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	体型カバーコーディネート、デザイナーへのプレゼン法を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用する知識、技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	骨格	骨格について・3つの骨格タイプ別のコーディネート法					
5～8		実践					
9～12	デザイナーへのプレゼン	小物コーディネート法					
13～19		学園祭小物コーディネート					
20～26	スタイリングショー	テーマ・コーデ・ヘアメイク決め					
27～30	韓国研修準備	計画					
使用テキスト 教材・教具	『骨格診断書×パーソナルカラー 本当に似合うBestアイテム事典』二神弓子/西東社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備する。						

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	スタイリストとして必要なお直し術、リメイクを学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用するお直し術を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、お直し技術やリメイク法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	スタイリストバッグ	スタイリストバッグの中身・使用目的					
3～8	お直し	静止画・動画のお直し術					
9～10	染め	洋服染め・染料について					
11～12		洋服や小物を染める					
13～16		リメイク、撮影					
17～30	リメイク	リメイク、撮影					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、染料道具						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。各自ノートを準備する。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅲ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	三根生 那穂子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	作品創りを通して、ファッションとヘアメイクをトータルでイメージし、コーディネートしていけるような技術を身につける。						
学習到達 目標	決められた時間でデザイン画をつくり、イメージに合わせてヘアメイク作品を仕上げる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニーで実績のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～17	ヘアメイク実技	テーマに合わせて作品を仕上げる					
18～23	学園祭ショーヘアメイク	ヘアメイクイメージをデザインし作品を創り上げる(1年生と合同練習)					
24～30	ラグゼビューティフォトコンテストヘアメイク	コンテスト用にヘアメイクイメージ案を創り、練習、撮影までトータルで作品を創り上げる					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリスト演習Ⅳ			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創る。						
学習到達 目標	松山コレクションで披露する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	スタイリングショー	研修振り返り					
5～8		コーデ組み・ヘアメイク決め					
9～12		構成決め					
13～18	デザイナーへのプレゼン	松コレ小物コーディネート					
19～20	作品撮り	テーマ決め					
21～23		撮影					
24～25		テーマ決め					
26～28		撮影					
29～30		まとめ					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、作品70%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅲ			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	3
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	実践的なリメイク法を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用するリメイク術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、お直し技術やリメイク法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～12	リメイク①	既製品に装飾をつける					
13～14		コーディネートする					
15～28	リメイク②	既製品に装飾をつける					
29～30		コーディネートする					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点					検定試験の 概要		
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。						

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅳ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	三根生 那穂子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年	
授業科目の テーマと目的	作品創りを通して、ファッションとヘアメイクをトータルでイメージし、コーディネートしていけるような技術を身につける。					
学習到達 目標	2年間で学んだ技術を作品として形に残す。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニーで実績のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～10	ヘアメイク実技	より深く追求していけるような作品テーマのヘアメイク練習				
11～15	松山コレクションヘアメイク	スタイリングショーのヘアメイク練習				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	研修			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	桑原 美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 2年		
授業科目の テーマと目的	最先端の韓国ファッションを現地で学び、スタイリングショーで使用するアイテムをバイイングする。						
学習到達 目標	テーマにそったバイイング技術、計画性を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	事前準備						最終チェック
3～14	研修	韓国研修					
15	まとめ	レポート作成					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							